

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310102920
大学名	青山学院大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京都
大学全体の総収容定員数	19,310 名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科組織構成	文学部（英米文学科、フランス文学科、日本文学科、史学科、比較芸術学科） 教育人間科学部（教育学科、心理学科） 経済学部（経済学科、現代経済デザイン学科） 法学部（法学科、ヒューマンライツ学科） 経営学部（経営学科、マーケティング学科） 国際政治経済学部（国際政治学科、国際経済学科、国際コミュニケーション学科） 総合文化政策学部（総合文化政策学科） 理工学部（物理・数理学科、物理科学科、数理サイエンス学科、化学・生命科学科、電気電子工学科、機械創造工学科、経営システム工学科、情報テクノロジー学科） 社会情報学部（社会情報学科） 地球社会共生学部（地球社会共生学科） コミュニティ人間科学部（コミュニティ人間科学科）		

2.事業概要

構想する新学部では、いわゆる独り立ちレベルのデータサイエンティスト育成を軸に、実課題解決に必要なデータ分析の知識を持ち、また、必要に応じて実査も可能な人材を輩出するため、令和8年度に入学定員60名、収容定員240名からなる統計・データサイエンス学部の開設を目指す。 昨今、社会的関心を集める生成系AIをはじめ、データサイエンスの各領域における技術革新は目覚ましく、そのため、卒業後は在学時に学んだ理論や技術を自学で更新し続ける必要がある。本学部は入学定員を60名に留めたうえ、それを可能にする基本的な数理や技術を修得するプログラムを重点整備し、併せて当該教育プログラムを社会人のリカレント教育にも提供する。係る特色を実現するため、実証研究と協調学習にいつでも利用可能で、高速演算処理が可能な電算機を備える施設（青山DSラーニングコモンズ）を設置し、その一部には守秘義務を伴うデータの専用解析区画も設ける。

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度
認可申請・届出予定	令和7年度 ※既に申請・届出している場合はその年度を記入
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	統計・データサイエンス学部 統計・データサイエンス学科（仮称）
設置等組織の学位分野	理学関係 工学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係
当該学部等の所在地	東京都渋谷区
入学定員	60 名
収容定員	240 名
入学定員の増加数	60 名
他学部等の入学定員の減少数	0 名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

基本情報

改組予定年度 : 令和8年度
改組内容 : 学部の新設
(当該大学が授与する学位の
分野の変更を伴わないもの)
設置等組織名 : 統計・データサイエンス学部
統計・データサイエンス学科
入学定員 : 【R8新設】60名
所在地 : 東京都渋谷区

コンセプト

データ駆動型社会においては、データから価値ある洞察を得ることができ、かつ、**意思決定を効果的に支援できる人材**の需要は極めて大きい。このとき、正しい意思決定には正しいデータ分析が必要であり、**正しいデータ分析には正しいデータが必要**となる。解決すべき課題に必要な**データの品質を見極め、データを整備し、あるいは、自ら調査設計を行なって実データを得る体系的な知識や技術に係る教育は重要**である。

こうした視座に立つ「統計・データサイエンス学部」は、**統計データを生み出し、それに基づく統計解析を行なう**という原点「統計」を謳う学部である。

社会的ニーズ

- ChatGPTなどの生成系AIが社会的関心を広く集めている
- データサイエンスを大学で専攻したいという潜在的ニーズは大きい

人材ニーズ

- IT人材が量的にも質的にも「大幅に不足している」と回答する企業が近年増加している
- データサイエンティストをはじめとするIT・デジタル関連人材の育成は喫緊の課題

教育体制と研究環境

- 青山DSラーニングコモンズ（仮称）：授業時間外に実証研究の実施と協調学習が可能で、高速演算可能な電算機を備えた施設を用意
- 公的統計オンサイト施設：公的統計のミクロデータ分析を可能とするオンサイト施設を申請・設置し、そこでの研究の実践を教育に体化

実務家教員の配置

- 実務家データサイエンティストによるAI関連ビジネスのフロンティアに係る講演
- 企業向けデータサイエンス研修で実績のある実務家教員の採用

他機関と連携した教育体制

- データの前処理等、実務の現場でこそ活かしたノウハウが蓄積される領域については、データサイエンス関連企業と協定を結び支援を受けて授業化を行う

入学者選抜と学修成果

- 統計学領域に重点を置く入学者選抜
- 性別を女性と自認している高校生を対象とした学校推薦型選抜の実施
- 統計検定を利用した卒業生の質保証

社会連携

- 本学卒業生を含む社会人を対象としたデータサイエンスに係るリカレント教育・リスキリング等の各種セミナーの開催
- 都内提携企業から特別研究員を受け入れた共同研究や受託研究の実施